

中東時事アップデート 2019年5月12日

アミール・ツアルファティ

- アメリカとイランの間で高まる緊張・ガザ・ワシントンDCでのミニストリー報告 -

<https://youtu.be/SPj5dS6kZLY>

みなさん、シャローム。アミール・ツアルファティです。カナダのトロントよりライブを行っています。

素晴らしい預言カンファレンスが終わりました。私たちのビホールドイスラエル第一回目の「Awaiting His Return」が、ここ、トロントで行われて、二千人以上の方が、カナダ、アメリカ、イギリス諸島、英国、メキシコ、フィリピン、その他の国々から来られました。世界中から人がカンファレンスに来るのを見て、私は衝撃を受けました。カンファレンスは大成功で、会場となった「Church on the Queensway」は、本当に素晴らしい教会で、今回のイベントで会場を提供してくださいました。それから賛美がまた感動的で、そして、Barry Stagner牧師と、Jack Hibbs牧師、Jan Markellさんと私で、本当に素晴らしかったです。また、神の祝福と神の御言葉を求める群れ、それと同時に、これを妨害して破壊しようとする敵の両方を感じました。一つのケースでは、私のメッセージが終わってすぐに、ある男性が立ち上がり、叫び始めました。

「携挙なんかない！聖書の中に書かれていない！」ところがとても興味深いことに、彼が叫んだ直後のJack Hibbs牧師のメッセージが、全て携挙についてだったのです。本当は彼にも聞いて欲しかったのですが、あまりにも彼が大声で叫び続けるので退場してもらわざるを得ませんでした。しかしこのことが教会の携挙に関する知らせと希望、約束を、敵がどれだけ嫌がっているのかということを確認に示しています。あれは驚きでした。私はこの後、テネシーとデンバーで第2ペテロ3章からメッセージをします。

まず第一に、次のことを知っておきなさい。終わりの日に、あざける者どもがやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。先祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか」（第2ペテロ3章3節から4節）

そして、事実、常に攻撃を受けているのは、主が来られる約束です。「来臨の約束はどこにあるのか？」と彼らは言います。言うまでもなく、「Rapture/ラプチャー」という言葉は、もちろん聖書にはありません。なぜなら、これはラテン語ですから。しかし、「Harpazo/ハーパーゾ」というギリシャ語が、聖書の中にあります。これは同じことで、彼らはただヨハネ14章を見ることを拒み、イエスがマルタに言われたことを見るのを拒んでいるのです。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

(ヨハネ11章25節から26a節)

これらすべてを。ただ面白いのは、イエスは聖書のいたるところで、そのヒントを私たちに与えてくださって、私たちは聖書のいたるところで、携挙について言及されているのを見ています。ところで、イザヤ書26章でさえですよ？それが興味深いことに、人が受け入れられず、彼らにとって大問題なのは、神はもうすぐ約束どおりにご介入され、教会を地上から取り除かれるという事実です。彼らは自分たちの欲望に従い、彼ら自身の地上のことに従っている、と聖書は告げています。そして彼らは、疑いや恐れ、混乱をまき散らして、人を眠らせて、備えをさせません。これはとても危険です。

そういうことがありましたが、本当に素晴らしいカンファレンスでした。次のコロラド州デンバーのカンファレンスも、とても楽しみです。それから、オーストラリアのパーズとメルボルン、ニュージーランドのオークランドも素晴らしいものになるでしょう。とても楽しみにしています。神は、素晴らしい！

さて、議員の方々にメッセージをした件や、連邦議事堂でのことについて話をする前に・・・ルーディー・ジュリアーニ元市長にもバツリお会いをして話をしましたが、彼は今、大統領の代理として、とても忙しく働いておられます。

その前に、現在中東で起こっていることに関して、短くお知らせをします。まずは、ペルシャ湾で高まっている緊張について。この数日の間に、アメリカが複数の警告を受けたことが分かっています。はじめは2週間前、イスラエルの諜報当局が、はるばるホワイトハウスまで行って、アメリカに警告をしました。「アメリカの新しい制裁と古い制裁がイランの経済にとって大きな障害となっていて、イランがものすごく激怒している」イランの石油輸出は縮小していて、1日200万バレルから110万バレルに下がり、今は、1日50万バレル以下にまで下がっています。これはもうイラン政権にとっては、ほとんど「死の宣告」です。もしこれで足りなければ、鉄鋼産業への制裁。鉄鋼はイランで2番目に儲けを出している産業で、それからガスやLPガス、これらすべてをトランプ大統領の政権が組織的にイラン経済を痛めつけていて、次の2つの内のいずれかを引き起こそうとしています。1つは、ずっと良い協議にイランが同意する選択肢で、この協議では、彼らがテロに資金提供することも、彼らが望むどおりにウラン濃縮を行うこともいっさいできなくなります。もうひとつの選択肢は、現在、国家安全保障顧問であるボルトン大使によるもので、イラン政権の崩壊を目撃することです。

現在のイラン政権の戦略をお伝えしましょう。彼らはなんとか引っ張って…、ちなみにヨーロッパの力を借りてですよ？2020年の選挙でトランプが敗北することを期待して、それまで時間稼ぎをしているのです。だから彼らは、なんとか水面に顔を出して、生き延びようとしているのです。ただ一つ、お伝えしておきますが、というより三つ。

まず第一に、イスラエルがアメリカに警告したことは非常に深刻に受けとめられました。その後、イラン海軍の司令官が告げました。「ペルシャ湾におけるアメリカ駐留は全く無意味であり、まもなく終わる。我々が必ず終わらせる」そして、国会の副議長であるイランの議員が言いました。「我々のロケットの射程距離にイスラエルがある限り、アメリカは攻撃してこない」ですから、いま、彼らは我々を人質に取ろうとしているのです。まさにサダム・フセインがしたのと同じです。彼はアメリカに腹が立ったため、イスラエルにロケットを発射しました。われわれが彼に何かを行ったためではありません。ただ、この24時間の内にわれわれが受け取った情報から私に言えることは、イラク国内のスニ派の部族が、一々イラク国内にはスニ派がいっぱいいます。シーア派やクルド派や他もいますが、しかし、イラク国内のスニ派の部族が、アメリカに警報を発しました。「イスラエルが告げたことは真実であり、正確だ。イランは弾道ミサイルを、彼らの民兵Hashd Al-Sha'abiの基地に集結させた」"Hashd Al-Sha'abi"とは、彼らの民兵隊の名前です。それだけではありません。シーア派が支配している刑務所は、スニ派の囚人でいっぱい、あちらの部族の指導者たちは、イラクの地域一帯にある弾道ミサイルの砲台を守るために、イランがこれらの囚人たちを“人間の盾”にすることを恐れています。ですから私たちは、ものすごく邪悪なことが明らかになるのを目にしているのです。イラン政権は、ある種、エスカレートを期待していて、暫定的な解決策を、現在期待しているのです。そして、ヨーロッパの支配層とアメリカの民主党が、最終的にトランプをホワイトハウスから追い出して、そしてようやく協議を更新してくれる人が出ることを望んでいるのです。

ところで、間違っただけじゃないですか？ジョー・バイデンは、複数回にわたり発言しています。彼は、イラン協議は維持されるべきだと信じていて、民主党はイラン協議から撤退することに反対している。興味深いのは…。ところでトランプ大統領が、こんなことを言っていました。「ジョン・ケリーは、反逆罪で起訴されるべきだ」なぜなら、彼は基本的にイランにアドバイスをしていたのですから。アメリカ政権に対して、接する方法を。これはローガン法で、こういった事を敵にアドバイスする反逆を罰することができるのです。ですから、今の時点で、明らかに民主党員たちが、あらゆる嘘の一線を越えたのが見えるでしょう。

もしこれで足りなければ、私たちは非常に興味深いものを目にしています。ドイツです。私はずっと言ってきましたし、ワシントンDCで、数日前に議員たちにも言いました。現在のアメリカが抱える最大の問題の2つは、イランのペテン師たちは除いて…、彼らは見事に対処されていますから、「中国」、これはトランプ

が良い仕事をしています。それと「ドイツ」です。議員が「なぜ、ドイツなのか？」と私に聞きましたが、ドイツは世界中でアメリカの政策を蝕もうとしています。イランに関しては、特にそうです。ドイツは制裁を迂回しようとしていて、他の協議を結んで、ガスを購入しようとしています。石油ではなく。それによって、イランの経済を再活性するために。ドイツは、他の銀行システムを得ようとしています。それを通して、イランと取引ができるように。ただ素晴らしいのは、ドイツは他のヨーロッパ諸国から、十分な支援が受けられませんでした。彼らは、アメリカと取引ができなくなることを非常に恐れたのです。ですから、アメリカの制裁、トランプ大統領が課した深刻な制裁は、実際に、どんな猟銃よりも、空母よりも、弾道ミサイルよりも効果的だったのです。これらの制裁が、現在、見事に効果を上げている様子を目にして、本当に驚愕します。

もうひとつお伝えしたいのは、USS（米軍艦）エイブラハム・リンカーンについて。おそらくみなさんも耳にされたでしょう。これはフットボール競技場3つ分の巨大な空母で、戦闘機を60機乗せ、さらに他の護衛艦も引き連れており、それからもちろん、B-52（戦略爆撃機）が少なくとも6機、イスラエル上空を飛んで、カタール空軍基地（アル・ウデイド）に向かうのが目撃されています。それから、アメリカの兵器がニミッツ型の空母で、さらにどんどんやって来ています。ところで、アメリカは隠していませんよ？この全貌は、ペンタゴンが生で配信しています。USS（米軍艦）のレーガンがスエズ運河を渡り、ペルシャ湾に向かう様子がライブ配信されています。あのときの様子は、かなりの光景でした。

ところで、みなさんにお伝えしておきたいのは、ほんの一ヶ月半前に、革命防衛隊がテロ組織として宣言されましたが、これも見事な効果を見せています。なぜなら、現在、彼らの銀行口座のすべてが凍結されていて、彼らの活動のすべてが、現在、制限されています。念のために言っておきますと、革命防衛隊は、アッヤトラー（最高指導者）の政権を守るための私兵です。ですから、政権が革命防衛隊を作動させ、革命防衛隊が政権を守っていて、一度、革命防衛隊を攻撃すれば、政権が崩壊する可能性があるのです。だから彼らは互いに助け合う必要があるのです。みなさんにお伝えしたかどうかは分かりませんが、数年前に、私は特別任務に与って、ドイツに派遣されました。そこで私は、正規の革命防衛隊の元メンバーにインタビューをしたのです。私は、それをまとめて、ある人たちに報告しなければなりません。その時に、私が知って衝撃を受けたのは、もっとも身分の低い兵士からトップの司令官まで、彼らの全員がドラッグ（麻薬）をしていたのです。みなさんがご存じかどうかは分かりませんが、イラン政権は、自分たちの革命防衛隊をドラッグ漬けにしているのです。容易に彼らを支配し、操作して利用するために。人をドラッグ中毒にして、彼らにドラッグを提供すれば、彼らは何でも言うことを聞くのです。

それから私が興味深いと思ったのは、ものすごく気がかりなプロセスが世界中で行われていることです。政府がドラッグを合法化すると…。私が個人的にずっと信じているのは、とくに、あの男性にインタビューをした後、強く思うのは、反キリストが人々を支配するのに最善の方法は、彼らを完全にドラッグ中毒にさせることです。そして彼らが常に必要とするように・・・よく聞いてください。人々は激しく洗脳されて、激しく幻想的になります。そして霊的なことを越えて、また化学物質がそれを増長すると、私は思います。現在、どんどん国が、あのカナダまでもがドラッグを合法化したと聞きました。飛行機に持ち込んだり、国境を越えて他の国に持ち込まなければ、どこでも使用は合法です。これは、トルドー首相の最大の伝説ですよ。なかなか驚きです。

ですから、革命防衛隊が大変なことになっているのが、明確に見えます。ということは、イラン政権が大変なことになっているという意味で、制裁が、現在、彼らを激しく痛めつけています。そして先ほども言ったとおり、イラクの部族が言っています。「弾道ミサイルが、すでに集結されている」そして、イエメンのフーシ派は、彼ら自身の弾道ミサイルを所有していることが分かっています。みなさんがご存じかどうかは分かりませんが、サウジアラビアは、南のイエメン、北のイラクに挟まれていて、そこで恐れているのは、サウジの石油インフラが攻撃されて、アメリカが何らかの報復をしなければならなくなることです。以前、サダム・フセインの時に、これを見ています。また、イランは何かを行う前に、よく考えるべきだと私は思います。トランプは自分の言葉を守る大統領ですから、そのように私は言うことができます。

以上が、現在、ペルシャ湾で起こっていることです。緊張が高まっていて、彼らが何かをするかもしれないと予測させる、あらゆる要素があります。私が強く思うのは、アメリカ大統領の決意が、最終的には、イランがあそこで何も出来ないようにするのではないのでしょうか。

あとふたつ、お伝えしたいことがあります。トランプの「世紀の協議」について、私はずっと言っていました。エルサレムを首都とするパレスチナ国家、ユダヤとサマリアからのユダヤ人の撤退は、もはや交渉の中に含まれてもいません。これは、私たちに漏らされた情報からです。これは20日以内に伝えられますから。事実、あと20日もありません。それが伝えられるワケですが、私たちに分かっているのは、ユダヤ人はひとりとして、ユダヤ・サマリアから撤退させられることはありません。あちらには30万人近くのユダヤ人がいるのです。もしかしたら、今はもっといるかもしれません。そして、西岸地域のイスラエル人の居住区、すべての町や村は、イスラエルの手中に残ります。基本的に私たちが言っているのは、イスラエルは継続して、今、イスラエルがいる場所に留まることができ、パレスチナ人の町は、パレスチナの支配下に置かれる。それだけです。エルサレムは、両者の間で分断されません。こんなことを、パレスチナが受け入れるとは私は思いませんが。彼らは、これよりもはるかに良い提案でも受け入れませんでしたから、彼らが受け入れるとは思えませんが、ひとつ私に言えるのは、パレスチナは、スンニ派アラブ界のすべての支援を失いました。彼らがバッシュール・アサドの味方につき、彼らはイランの側につき、彼らに協力しているためです。私が心底信じているのは、パレスチナの周辺でアラブからトランプ協議を受け入れるように、ものすごいプレッシャーがかかるのを、私たちはこれから目にしたいと思います。なぜなら、トランプ協議は、最終的に何を告げるのかということ、「もし、あなたがたがこれを受け入れないなら、私たちは、いつもいつも拒絶するこの指導者たちを取り除く。そして、あの地域の戦争ではなく、ようやく平和に向けて動く、もっと良い指導者を置く」

ネタニヤフ首相が今日、議会で発表しました。「まもなく、ゴラン高原に街を建設し、そこにドナルド・トランプにちなんだ名前をつける。その場所も、もう見つけてある。110戸の家を建てるところから始める。それから継続して、最初に千人、それから2万5千人がゴラン高原に住むようになればと望んでいる。すべてをもって、ドナルド・トランプ大統領と、ゴラン高原のすべてがイスラエルの領土であると発表した彼の歴史的決断に敬意を示す。」

イランはすでに激しく怒っていて、また、ヒズボラに「これ以上、ロシアに協力するな」と指示しました。ロシアは現在シリアで泥沼にドブプリと浸かっている、ロシアは、現在、あらゆる反政府勢力のいるイドリブの飛び地を終わらせたいのです。彼らはそこら中に勢力を集中させて、基本的にはこのように言っています。「シーア派の君たち、全体に出て行きなさい。我々が空から防衛しよう。我々は空から爆撃するから、あなたがたは地上から行きなさい。アレッポや他の場所で行ったように、あちらでもするから」しかしながら、突如戦争で負けている様子を見ていたイランが、ヒズボラに参加しないようにと言ったのです。それは、ロシアが次のように言うことを意味します。「それなら我々は空から防衛しない。あなたがたは想像をはるかに超えて、多くの死者を出すだろう」それがハッキリと見えています。

みなさん、さらにお伝えしたいのは、イスラエルは先週、700発のロケットによる暴力のサイクルを経験しました。みなさんもお存じでしょうが、私が思うに、次回、イスラエルはハマスをとても激しく攻撃しなければなりません。我々は、この週の間、静寂を保つように努めました。世界最大の音楽フェスティバル、「ユーロ・ビジョン・コンテスト」がイスラエルで開催されますから。去年のユーロ・ビジョンでイスラエルが優勝したので、そのために今年テルアビブでユーロ・ビジョンが開催されるのです。これを目当てに、世界中から観光客とメディアが集まります。それがテルアビブで水曜日に開催され、たぶん木曜日でもだったと思いますが、三夜行われます。ただ、みなさんにお伝えしたいのは、私が思うに、これらすべてのイベントが終わったら、ホロコースト記念日も終わりましたし、独立記念日も、つい先日お祝いして、終わりました。そして、これも（ユーロ・ビジョン・コンテスト）終われば、私たちは非常に激しく攻撃すると私は思っています。イスラエルは、ほぼ毎週行われている、この種のあらゆる嫌がらせを見逃しません。

ところで、パレスチナは「大惨事の日」を記念することを望んでいます。これはグレゴリオ暦でいう1948年5月14日で、イスラエルが創設された日です。それをパレスチナは「大惨事の日」として記念しているのです。そして彼らは5月14日に、今日から2日後ですが、現在彼らは、いくつかの場所で大規模なデモや、イスラエル警察やイスラエル軍との何らかの衝突を計画しています。いつも言いますが、私はずっと聖書預言を教えてきて、パレスチナ国家が創設されるのを、一度も見たことがありません。それについて、私はこれっぽっちも考えたことがありません。本当のことを言いますが、イスラエルが反キリストの恐怖から逃れると私は思っています。そして土地は、異邦人たちで分断されると信じています。ですから私は、それが起こると信じています。しかし、その時まで、反キリストが出るためには、私たちがエルサレムに神殿を保つためには、私たちが持つ富や権力によって、私たちが完全に盲目にされるような高慢な国家になるためには、そのときまでに私たちは、かなり成功してるはずだと私は思います。ですから、前にも言いましたが、大患難は、最終的にはイスラエルの救いのためであり、イスラエルは大患難を通らなければなりません。私はそれを見えていますし、それが近づくのを見えています。そして私に言えるのは、私たちがその大患難を通る前に、私たちは発展し続け、繁栄し続けます。そして私たちが発展すればするほど、繁栄すればするほど、さらに敵は攻めてきます。そして彼らは、もっと早く侵略してくるでしょう。だから私は、相手がイランであっても、パレスチナであっても、差し迫る戦争を恐れませんが、実際、我々がどんどん強くなっているのを、私は見えています。

ところで、私はこのためにドナルド・トランプ大統領は、聖書預言において非常に重要な役割を果たしていると信じているのです。なぜなら、彼がホワイトハウスにいる限り、国際社会からイスラエルへの追い風を彼は見えていますから。ヨーロッパは私たちに手を出してきません。私たちにホワイトハウスに強力なバックがあることを、彼らは理解していますから。スンニ派アラブ界は、彼らがホワイトハウスに気に入られるためには、私たちに親切にした方が良くことを理解しています。ですから、彼がホワイトハウスにいる限り、恵みの時代があるのです。まるで盾と守りのような時代です。と言っても、私たちを守っているのは神ですよ？トランプ大統領ではありません。私は、神が指導者たちを使っておられると信じています。神が政府を置き、指導者たちを導いておられるのです。こういった事を提供するために。だから、私はとても慎重に目を見張っています。そして、一瞬たりとも疑ったことがありません。一瞬たりとも。トランプ大統領はイスラエルの真の友です。私は、神が彼を送られたのだと信じています。このような時代に、神がイスラエルのためにアメリカを送られたのだと、私は信じます。私は、そう信じています。

ただ、みなさんに言うておきますが、もし彼が再選しなければ、もし、彼がホワイトハウスに留まらなければ、もし、民主党が勝てば、数日前に、議会で私の意見を聞かれた時に、私はこう言いました。保守派、イスラエル人、ユダヤ人として私に言えるのは、私が現在、アメリカで目撃しているのは、「大きな変換」と呼ばれるものです。「大きな変換」は、この数年間に英国で起こり、それが現在、アメリカで起こっています。起こったことは、とてもシンプルです。英国では、労働党はユダヤ人にとって、政治的には本拠地でした。それが最近では、彼らは英国の中で彼らの力が減少して、ムスリムの力が勢いを増しているのを目にしています。そして労働党が、英国の中で激しい反ユダヤ、反イスラエル主義、親ハマス、親ヒズボラの政党になって来ました。「大きな変換」です。今や、ユダヤ人よりもムスリムを選びます。そして、英国で起こったことを、現在、アメリカの民主党の中で起こるのを目にしています。

みなさん、理解しておいてください。ユダヤ人たちがヨーロッパから逃げた時、みなさん、このことを覚えていてください。1920年、当時『パレスチナ』と呼ばれていたイスラエルにいたユダヤ人は、6万人だけでした。そして、3百万以上のユダヤ人が、はるかアメリカに逃げたのです。そして、彼らは彼らを守る政治的本拠地を求めました。1930年代、フランクリン・ルーズベルトが「ニューディール政策」を作り、そして彼は妻と共に「ニューディール政策」の中で、「少数派連合」を作りました。彼は社会主義の大統領で、すべての少数派をまとめたかったのです。当時はアフリカ系、ヒスパニック系、ユダヤ系です。ちなみに彼は、その中に少数派だったカトリックも入れていました。そして彼は少数派の連合を作り、こう言ったのです。

「我々が、あなたがたの家となる。我々が、あなたがたを守る」さて、思い出してください。KKK（白人至上主義）の本拠地は、民主党です。奴隷支持派は、民主党です。この2つで、もっとも差別主義なのは民主

党です。しかし彼は、少数派の新しい連合を作り、それによって実際、彼らは故郷のように感じていたのです。政治的に守られていると感じていました。彼らには、アメリカの政治システムの中に、自分たちの居場所があると感じて、そのためにユダヤ人たちは、民主党の中で非常に安心していたのです。それは1930年代なかばから始まって…。ちょっと考えてみてください。KKK（白人至上主義）は、民主党から出ているのです。なのに、なぜユダヤ人はそこまで信頼したのでしょうか？それは、突然、民主党が「我々は少数派の面倒をみる」という色を塗り始めたからです。ところで、これは彼の側にとっては、聡明な動きですよ？

それから、私たちが今日、目にしているのは、「大きな変換」です。それが英国で起こって、ユダヤ人たちは…。聞いてください。ユダヤ人の数がイスラエルに6万人、アメリカに3百万人でした。それが今は、イスラエルに7百万人、アメリカには5百万人以下です。お分かりになるでしょうか？3百万と6万人が、今では5百万人とこちらイスラエルでは7百万人です。イスラエルはユダヤ人にとって、世界中で最も重要な場所になりました。もはや、アメリカではありません。それが、アメリカのユダヤ人の一部にとっては、問題なのです。「我々は、もう牛耳ってはいない。我々はもはや、すべてをイスラエルのためになるように決定する、主要なユダヤ権力ではない」そしていま、彼らはイスラエルに敵対しています。今、彼らはムスリム女性が議員に選ばれ、ユダヤ人やユダヤ資金に関して恐ろしいことを言ったり、あらゆる事をするのを目にしています。それに対して、民主党の指導者たちは何も言いません。彼らの中には、ユダヤ人もいます。

みなさんに、もうひとつお伝えしたいことがあります。ところで、これはとても気がかりなことですよ？イスラエル在住のユダヤ人として、私は言えます。私が非常に警戒しながら目を向けているのは、アメリカのユダヤ人たちが主要権力の代表となって、トランプ大統領の再選を防ごうとしている様子です。「J-ストリート運動」は革新的なユダヤ運動で、この指導者である Ben-Ami氏はジェイソン・ベン・アミ だったと思いますが、彼は「エルサレム・ポスト」のインタビューで、基本的には次のように言いました。「2020年、トランプを敗北させるための動きで前線にいるのは、ユダヤ人だ。彼が絶対に再選しないように」ローゼンスタインやコーヘンといった多くのユダヤ系の名前が、トランプを起訴し、彼が間違いであると何とか証明しようとする動きの中に浮上しています。それだけではありません。指導者たち、チャック・シューマーやバーニー・サンダースといった、これらすべての人たちは、あまりにも幻覚を見すぎて、現在、イスラエルに関しては、彼らはもっとも反ユダヤ派、反イスラエル派の声です。ですから、現在我々が目にしているのは、「大きな変革」です。アメリカ国内でムスリムの数は膨大に増え、アメリカ国内のユダヤ人の数は、どんどん減少しています。民主党は歩みを計算しながら言っています。「大いなる変革」「さあ、“月”を選ぼう！」「さあ、反ユダヤの声を選ぼう！」そこでみなさんにお伝えしますが、彼らは選挙で勝つためにできることは、何でも行います。不法移民の投票を認め、未成年の投票を認め、重犯罪者の投票を認めます。すべてはドナルド・トランプを負かして権力を取り戻すため。そうしてグローバリズム、世界統一政府の働きを再活性化させるため。そしてもちろん、イラン協議や、その他多くの邪悪なものを守るためです。ですから、私たちが見ているのは…。

私はワシントンDCで目にしたことを、みなさんにお伝えします。私はあちらで素晴らしい会談を持ち、素晴らしい議員の方々と、これらのことについて議論しました。ところで、私がこのすべてを彼らに話したら、イスラエル人、ユダヤ人から、このことを聞いてかなり衝撃を受けていました。しかし私は、彼らに真実を話しました。「イスラエルのユダヤ人と、アメリカのユダヤ人は、物事を全く違う視点で見ている」アメリカにも、ベン・シャピロや、マーク・レヴィン、その他の人たちのような、保守的なユダヤ人はいますよ？彼らはアメリカのユダヤ人の中であって、正気な声です。ご覧の通り、現在、民主党のユダヤ人たちの多くが、すっかり迷っています。なぜかといえば、党全体が発狂してきていますから。そしていま、彼らは政治的本拠地を探しているのです。しかし、なにかが彼らを共和党になるのを阻んでいるのです。共和党は差別主義者であるとか、偏狭的であるとか、そういった色を塗られてきたから。でも現実には、KKK（白人至上主義）は民主党であり、奴隷を支持しているのも、人種差別主義も民主党です。しかし多くの人がそれを知らず、ただただ残念です。2020年にトランプを敗北させようとする闇の力が動くのを見えています。私がワシントンDCにいるあいだに、彼（トランプ大統領）が2020年の選挙活動を開始して、あちらで大きなイベントが、いくつかありました。私は彼が大統領に留まるよう、心底願います。アメリカのためだけではなく、

それ以上にイスラエルのために。ただひとつ私に確かなのは、「イスラエルを守られる方は、眠ることもまどろむこともない。」

ところで、私は将来を知っています。と言っても、私が預言者なのではなく、預言者たちが私たちに告げていますから。そして、最終的に3つのことが起こります。繁栄が侵略を招き、侵略が戦争を招き、戦争が偽の平和を招き、偽の平和が神殿を招きます。神殿が反キリストを惹きつけ、やがて彼は、自身が神であると宣言します。するともちろん、ユダヤ人たちは彼を受け入れず、荒野に逃げ、神は彼らのために1260日間、場所を備えられます。1260日とは、聖書の暦で正確に3年半です。本当に驚くべき事で、私たちはこれらを目撃しているのです。聖書は、分、日、週、月単位で正確です。私たちは、神の御怒りが何ヶ月間なのか、何年間なのか、何日間なのかを知っています。さて、ダニエル8章19節は、7年間全部が神の御怒りであることについて告げています。

そして言った。「見よ。私は、終わりの憤りの時に起こることを、あなたに知らせる。それは、終わりの定めの時にかかわるからだ。（ダニエル8章19節）

ただ、神の御怒りの後半に、より大きな災害があるだけで、全体です。これは英語（日本語）では「indignation/憤り」と呼んでいますが、ヘブル語では、「אַף」これは、「御怒り」です。「御怒り」

私たちは「御怒りに会うように定められていない」（第1テサロニケ5章9節）

と言うなら、私たちは7年全体が定められていないのです。7年全体が神の御怒りです。「その半分だけが神の御怒りだ」なんて声に耳を貸してはいけません。預言者ダニエルは、「אַף」という言葉を7年間全体に使ったのですから。ここを正しい視点にしておきたいと思いました。ですからみなさん、理解しておいてください。これから何が起こるのか、私たちは知っています。周辺全体がどうなるのか、私たちは知っています。そして私が思うに、私たち信者にとって最も重要なのは、握りしめること。ここで、初めの話に戻りたいと思います。それと、敵が常にみなさんに浴びせようとしているメッセージです。それはなんのメッセージかというと、ののしる者たちのメッセージ。みなさんに、こんなふうと言おうとします。

「キリストの来臨の約束はどこにあるのか」（第2ペテロ3章4節）

ところで、ユダもまた、17節から19節で告げています。

愛する人々よ。私たちの主イエス・キリストの使徒たちが、前もって語ったことばを思い起こしてください。彼らはあなたがたにこう言いました。「終わりの時には、自分の不敬虔な欲望のままにふるまう、あざける者どもが現れる。」この人たちは、御霊を持たず、分裂を起こし、生まれつきのままの人間です。

（ユダ1章17節から19節）

その彼らが言っていることとは？

キリストの来臨の約束はどこにあるのか（第2ペテロ3章4節）

これですよ。しかし私たち、神の民には、聖書のヘブル人への手紙10章で、このように告げています。これは、昨日の「Awaiting His Return」カンファレンスでの私のメッセージです。ヘブル人への手紙10章23節。

約束された方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか。また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。
(ヘブル10章23節から24節)

約束された方は真実な方です。彼は何の約束について言っているのですか？彼は将来の約束について言っています。「私たちは動揺しないで、」なんですか？「私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白しようではありませんか」言い換えれば、これはもうすでに与えられた約束ではありません。聖霊も約束されましたが、これは私たちはもうすでに持っています。これは、「異邦人が相続者となり、神の子どもとなる」という約束ではありません。それはもう、与えられています。これは、将来の約束です。だから、「私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白」しなければなりません。敵は“ののしる者たち”を送り込んで、私たちを動揺させようとしています。彼らは、いつも言います。「携拳などない」「彼は迎えに来たりはしない」「そんなものは存在しない」聖書の中には携拳の証拠がいっぱいあるというのに。聖書はテトス2章13節で、それについてこう告げています。

「祝福された望み」 (テトス2章13節)

それから聖書は第1テサロニケ1章で、彼が私たちを連れて行ってくださる事実について語っています。

“やがて来る”御怒りから私たちを救い出してくださる (第1テサロニケ1章10節)

興味深いことに、ヨハネ14章では、

「あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。」 (ヨハネ14章2節)

場所を備えたら、また来て… (ヨハネ14章3節)

わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。 (ヨハネ14章2節)

「あなたがたをわたしのもてに迎えます。」 (ヨハネ14章3節)

そして言われました。「わたしのいる所に・・・」彼は、どこにおられますか？御父の右手に座しておられます。

「わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」 (ヨハネ14章3節)

「あなた方のいる所に、わたしもいる」ではなく、いまは、地上の来臨の話ですよ？彼は言っています。

「あなたがたをわたしのもてに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。」

(ヨハネ14章3節)

それから、昨日ジャック牧師が教えていたのは、「栄光ある現れ」(テトス2章13節)。これは「再臨」ではなく、「現れ」です。言い換えれば、彼(イエス・キリスト)が、雲の中に「現れる」のです。再臨ではありません。再臨では、すべての目が見、すべての膝がかがめられ、世界中で目撃されます。しかし、「現れ」は、主イエスの現れを心から待ち望んでいる者たちだけのものです。これはすばらしいことで、全く違います。これが私たちにある「祝福された望み」です。ですから、みなさん全員を励ましたいのです。たしかに邪悪な世の中で、さらにこれよりも悪化します。しかし、私たちには大きな希望があるのです。ですから、ペルシャ湾で起こっていることにしろ、シリアで起こっていることにしろ、ガザであれ、なんであれ、私たちは、そんなことでは動揺しません。そうですね？私たちがすべきことは、ただ備えをするだけ。正

しい生き方をするのです。確実に備え、確実に御父の仕事を行い、そして、最も重要なことを行うのです。つまり、果てしなく死んでいる世に御言葉を伝えるのです。

ひとつ言いたいのは、みなさんは、至るところで迷い出た人たちに、すっかり囲まれています。そして彼らは、あなたから聞く必要があるのです。「希望がある」ということを。希望がある。それは、私たちにある約束です。「約束された方は、真実です」約束された方が、とても真実な方で、彼は変わることができません。彼は昨日も今日も、永遠に同じ。あなたは、彼を信頼してよいのです。彼の約束は、「しかり」であり「アーメン」。ですから、みなさん、引き続き頑張って前進しましょう。ののしる者たちにも、疑う者たちにも、バカにする者たちにも邪魔をさせず、ただ、前進するのです。前進しましょう。時に批判されるでしょうし、時にバカにもされるでしょう。でもみなさん、出エジプト記14章14節が告げていることを握りしめてください。

主があなたがたのために戦われる。あなたがたは黙っていなければならない。（出エジプト14章14節）

ヘブル語では、（英語のように）「平安でいなさい」とは言っていません。

יְהוָה יִלָּחֶם לָכֶם וְאַתֶּם תַּחַרְיוּ: פ

主があなたがたのために戦われる。あなたがたは黙っていなければならない。（出エジプト14章14節）

「黙っていなさい」と。時に、言葉が多すぎるのです。でも時には神に対応していただいて、神に、あなたに代わって戦ってもらうのです。ただ、あなたのすべき事を行って、前進するのです。そして、動揺せずに、信仰を告白しましょう。忍耐が重要で、持久力が重要です。そして、主を待ち望むことが重要です。彼は、ハバクク書（2章3節）の中で約束されました。

「かならず来る。遅れることはない」

イザヤ書の中でも、彼は「来る」と約束されました。それから第2ペテロ2章でも約束されました。主の来臨について。

主は、ある人たちがおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。（第二ペテロ3章9節）

ところでこれは、カルヴァン派にとっては、最大のパンチですよ？彼らは言います。「神は、初めから天国に行く者、地獄へ行く者を定めている」いいえ。神は、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人がイエス・キリストを知り、救われることを望んでおられるのです。信じるかどうかは、その人次第です。そして神は、すでにそれをご存じですが、彼の御心は、皆が救われることです。

神は、実に、…「世」を愛された。（ヨハネ3章16節）

教会ではありません。

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。（ヨハネ3章16節）

そしてここからが、私たちの責任です。「それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」神は、神のすべきことをして、ひとり子を送られました。なぜなら神は、世全体を愛しておられるからです。では、すべての裁きをのがれるのは、だれなのか？聖書は告げています。

御子を信じる者はさばかれない。信じない者は、神のひとり子の御名を信じなかったので、すでにさばかれています。(ヨハネ3章18節)

なぜなら、私たちは罪人として生まれていますから、すでに裁かれています。私たちが裁かれない唯一の方法は、もし私たちが彼を信じ、彼を信頼して、罪を取り除くための犠牲を、私たちが受け入れること。もし、あなたがそれを行って行けば、もはや死刑はありません。それで終わりです。あなたはもう、裁かれない。しかしもし、あなたが信じないなら、あなたはすでに裁かれています。この中間はありません。ですからどうかみなさん、ご家族、お友達に伝えてください。時間が迫っています。その日が近づいています。そして私たちの世代は、いちじくの葉が茂り、イスラエルの土が繁栄し、イスラエル人、イスラエル国家が息を吹き返すのを見ているだけではなく、私たちは、かの日が近づいているのを見ている、唯一の世代です。彼らが祈り、望み、断食して求めたものを、私たちは見ているのです。かの日が近づいているのを実際に目で見ているのは、唯一、私たちだけです。超重要です。

天のお父さま。あなたの御言葉、あなたの約束に感謝します。また、私たちにある、あなたがすぐに迎えに来てくださり、あなたの元に行くという約束に感謝します。

では、アロンの祝福をお祈りします。

その前に、みなさんにお伝えしておきます。インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブ、ツイッターで、私たちをフォローしてください。Behold Israel (/ビホールド イスラエル) です。それから、ウェブサイトより、ニュースレターを登録してください。BeholdIsrael.org

では、祈りましょう。

(ヘブル語で)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6章24節から26節)

(英語で)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6章24節から26節)

あらゆる理解を超える平安、唯一、平和の君、平和の主だけに与える事の出来る平安、その平安が、今もとこしえに、ここでも、どこにおいても、与えられますように。

イエシュア、私達の救い、イエスの御名によって、祈ります。アーメン！

もう一つ、お伝えしますと、来月・・・ではなく今月の終わりから「ヤング アダルトツアー」が始まります。100人の若者達が、5大陸すべてからイスラエルにやって来ます。その内の半分が、私たちが資金援助をして、費用を支払えない国々からの参加が可能になりました。私たちは、彼らの人生が変えられて、それぞれの国に送り返す事を望んでいます。この年代は、いつも私の心にある世代で、全ては、みなさんの惜しみない援

助のおかげです。私たちは、車も事務所も何も、資金を吸い取られるようなものは、一切所有していません。ミニストリーに与えられたものは、全て、こういったものに使われています。それから、ここを訪れる経済的余裕のない牧師と牧師夫人も、ご招待したいと思っています。そして彼らの人生を変えて、国に帰って頂きたいのです。そして人生が変わり、会衆が変わり、社会が変わるのを見たいのです。私たちは、確実に、イエスの御名が宣べ伝えられ、差し迫る、主が花嫁のために来られる日に向けて、人々が備えるようにしたいのです。

ご視聴いただき、ありがとうございます。

I love you !

カナダのトロントより、

God bless you !

続けてテネシー、それからコロラドに行きます。どうか、私のために引き続きお祈りください。私のチーム、私の家族のためにも、どうぞお祈りください。そしてミニストリー全体のために、続けてお祈りください。みなさんのお祈りとご支援に感謝します。

God bless you !

カナダのトロントより、シャローム！

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.05.17 (Fri)
